



▽学校だより△9月号 No.9
ふるさと勝馬

福岡市立勝馬小学校
令和元年8月27日(火)
(発行日現在 児童数36名)

2学期がスタート！ ～やる気スイッチON～

今日から2学期がスタートしました。夏休みを楽しく過ごした子ども達の元気な笑顔が、学校に戻ってきました。

始業式では、「目標を決めて、自分からやる気を起こして取り組もう」という話をしました。のび太君やでき杉君、しずかちゃんを例に、「何かを買ってもらえるからがんばる」という外発的動機ではなく、自分でわかる喜び・できる喜びや友達と共に行う喜びを実感していくという内発的動機を大切にしようということをお話しました。

2学期は、運動会などの大きな行事がたくさんあります。これらの行事を通して、一人ひとりが今よりさらに大きく成長できることを願っています。そのためにも、子ども自身がやる気を持って勉強や運動などに取り組んでいけるように、やる気スイッチONになるように取り組んでいきます。ご家庭でも、お子様の内からのやる気が出るようなご指導やお声かけをよろしくお願い致します。2学期もどうぞよろしくお願い致します。



【代表児童の言葉:やる気スイッチオン】

福岡市いじめゼロサミット2019 みんなでスクラム

8月20日に南市民センターで「福岡市いじめゼロサミット2019」がありました。本校6年生の内藤さんが勝馬小学校の代表として参加しました。これは、福岡市の各小中学校から代表が一人ずつ集まり、いじめをなくすためにはどうしたらよいのかについて意見交換するというものです。志賀中ブロックみんなの話し合いにより、「中学校ブロックで共通した取組(どの学校でもこれまで行ってきた毎月10日のハイタッチを0の付く日に増やす)」に決まりました。また、各学校工夫したいいじめをなくす取組を継続してやっていくことも確認しました。これからも勝馬小みんなが仲良くして、「いじめゼロ」の学校にしていきたいと思います。



【中学校ブロックのみんなと話し合っている様子】

いじめゼロサミットは今回で7回目となります。いじめゼロサミットでは今までの取組の振り返りがありました。ちょっと紹介します。
2013年「福岡市いじめゼロ宣言」福岡市の取組として、いじめゼロを目指し取り組んでいこうということが宣言されました。
2014年「いじめゼロの日」毎月10日を「いじめゼロの日」とし、全校でいじめをなくそうという雰囲気を作っていました。
2015年「ハイタッチ」毎月10日の日にはみんなでハイタッチをして仲良くなり、いじめをなくそうという取組を進めました。
2016年「わたしたちのいっほ！」友達のSOSに気付いたら、自分にできることを考えて、自ら行動していくことを目指しました。
2017年「わたしたちのよさ 友だちのよさ」自分のよさ、友だちのよさを互いに認め合い、自尊感情を高めていく取組を行いました。
2018年「つながる」中学校ブロックでつながって、共通した取組を行うようになりました。
2019年「みんなでスクラム」というスローガンで、中学校ブロックでいじめをなくしていく取組をより推進していくことになりました。

8・9月 行事予定

| | | |
|------|---|--|
| 8・27 | 火 | 始業式 ◎児童下校11:30 |
| 28 | 水 | 給食開始 委員会活動6校時 発育測定(低) |
| 29 | 木 | 外国語(高・低) 発育測定(中・高) |
| 30 | 金 | ICT学習 海岸清掃 |
| 9・2 | 月 | 運動会練習開始 クラブ活動 |
| 3 | 火 | 外国語(中・高) 学習定着度調査4・5年国算 |
| 4 | 水 | 全校給食 ICT学習 |
| 7 | 土 | 自由研究発表会・かかしづくり・懇談会 |
| 9 | 月 | クラブ活動 |
| 10 | 火 | 特別時制6時間 外国語(高) |
| 11 | 水 | 全校給食 |
| 12 | 木 | ICT学習 |
| 16 | 月 | 校区敬老会 |
| 17 | 火 | 外国語(中・高) |
| 18 | 水 | 全校給食 |
| 19 | 木 | 全市小学校一斉研修のため特別時制4校時給食後下校12:35(海っ子お迎え) 外国語(高) |
| 20 | 金 | 外国語(低) |
| 24 | 月 | 特別時制6時間 外国語(高) |
| 25 | 水 | 全校給食 |
| 27 | 金 | 運動会準備 |
| 29 | 日 | 小学校・勝馬校区運動会 ※30日(月)代休 |

風止め相撲

風止め相撲は、勝馬に古くから伝わる大切な行事です。台風が来るこの時期は、稲穂が出て花をつける大切な時期でもあります。そこで、力強い相撲の取組をし、風を止めようという願いのこもった地域の伝統行事の奉納相撲です。勝馬小の子ども達も土俵に上がり、取組をがんばって行っていました。



自分の力を出し切るぞ!



和ごまに挑戦!

7月29日、福岡県和ごま競技普及協会「ちびっこ指導員」の子ども達から和ごまの遊びを勝馬小の子ども達(希望者)に教えていただきました。これは、和ごまが志賀島のマテバシイを原料にして作られているというご縁から行われたものです。参加した子ども達はあっという間にできるようになっていました。テレビや新聞でも、この模様は紹介されました。



